

展 望

モデリングによる心理療法

福 島 脩 美 西 沢 芳 枝*

1. モデリング療法の概念

行動療法は学習理論とその技法に基礎を置く心理療法である。その背景には古典的条件づけとオペラント条件づけの理論があるが、その中で Wolpe は独自の技法を生み出している。近年、学習理論の1つとして Bandura の社会的学習理論あるいはモデリング理論が注目されている。モデリング療法はモデリングの理論と技法を治療に応用するものであり、行動療法の諸技法の中の重要な1つとして、その位置を主張しうるものである。現在のところ、モデリング療法は1技法としての地位を確立しているとは言えないかもしれないが、現実の問題としてモデリングによる行動変容は起きている。現在までのモデリング理論の臨床適用を振り返り、一心理療法としての今後の発展を考えてみたい。

従来の強化理論とモデリング理論との主要な相違は、モデリングによる行動変容が第1に、強化を必須の要因とはしていないことである（原野他、1975）。第2に直接的・外的強化のみでなく、代理強化や自己強化に重要な役割が与えられていること。第3に認知的媒介過程を重視していることから、イメージや言語といった内潜的過程をも理論体系と技法の中に無理なくとり入れることができ（福島・松村 1977）、第4に人間の社会的行動の現象を十分に説明できるだけの柔軟さと広がりをもっていること、などが挙げられよう。

Bandura (1969, 1971a) はモデリングによって習得されるのは特定の刺激—反応の連合ではなく、示範された事象の象徴的表象であるとして、4つの下位過程（注目、保持、運動再生、動機づけの各過程）を仮定し、心理学的機能として3つの主な効果（観察学習、制止・脱制止、反応促進の各効果）を指摘している。

心理劇や役割演技法は、その治療の中で役割交換によって適切な役割を模倣させ、行動レパートリーを増大させようとする面ではモデリングと類似している。しかし、

モデリングにおいてはCI（クライアント）が日常生活の中で演じている習慣化された不適切な行動（役割）を再現して、その行動にCIが気づくまで待つということはない。それは不適切な行動をモデリングすることになるからであり、否定的な面を強調する危険性を含んでいるからである。

伝統的なカウンセリングとの比較において、Bandura (1971c) はカウンセリングのTh（治療者）はCIにとって機能的価値の低い沈黙と解釈行動をモデリングしているのであり、それに対し、モデリング療法はCIに機能的価値の高い適切行動を呈示して習得させるものであると述べて両者を対比している。カウンセリングにおけるThとCI間の相互交渉過程は、モデリング理論を含む社会的学習理論（Bandura, 1977）の視点から再吟味することによって、その治療的意義を明らかにしうる可能性がある（福島・原野 1977）と考えられる。

2. モデリング療法の適用症例

モデリング療法によって改善された問題は、その性質によって幾つかのグループに分けることができる。

(i) 恐怖・不安の除去

Mo（モデル）が恐ろしい活動をしていても、マイナスの結果を受けないのを見た後では、Ob（観察者）の抑制されていた行動が起こりやすくなることが知られている。このような脱制止効果の例証として、モデリング療法を特定の対象に対する恐怖や不安の除去・軽減に適用した例は、以下に述べるように多数報告されている。

Bandura & Menlove (1968) は犬恐怖の子どもたちの一方の群には大人のMoが、他方には複数の子どものMoが恐がらずに犬と社会的交渉をもつ映画を見せたところ、どちらのMoを見た子どもたちにも回避行動の面で広般な改善が見られたことを報告している。

また Cautela, Flannery & Hanley (1974) はねずみ恐怖の女子大生にモデリングを用いて除去をはかったが、イメージによる内潜的モデリング群でも、実物のねずみやMoを用いたライブ (live) モデリング群でも等しく効

* 東京学芸大学

果のあったことが報告されている。

治療の対象となった恐怖は、ねずみ、犬 (Bandura, Grusec & Menlove 1967), 蛇 (Kornhaber & Schroeder 1975), かえる (今井靖親 1976) などといった特定の動物に限らず、これらの恐怖があるために日常生活の中で困難を生じるような水活動 (水泳) への恐怖 (Lewis 1974), フライト (flight) 恐怖 (Denholtz 1975), 歯科恐怖 (Shaw & Thoresen 1974, Melamed et al. 1975), さらに子どもたち (4~12才) の入院・手術に対する恐怖の軽減をはかるなど広く用いられている。Melamed & Siegel (1975) は入院して同じ手術を受けた子ども (Mo) のフィルムを見せることで、無関係の統制フィルムを見た子どもたちに比べて、親からの報告も含めて有意にその恐怖を軽減するのに成功している。

(ii) 意見の主張や自己表明の促進

Rathus (1973) は非主張的な女子大生に、主張的な Mo が異なった場面・状況の中で話したり討論したりする 7 つの主張的な VTR (挨拶, 気分の表明, 自分の権利や有利な点を主張, 他人との不一致の表明など) を観察させ、その後で 9 つの段階にわたる主張行動を実践させた。その結果、placebo と無処置の統制群の S (被験者) に比べ有意に高い主張行動が自己報告され、さらに社会的葛藤事態への恐怖の低減を報告する傾向がみられた。

対人交渉場面で適切に自己を主張することは、そこで生じる社会的葛藤事態への恐怖を抑制する上で重要なだけでなく、社会的参加を促す上からも重要である。

O'Connor (1969) は、社会的に引込み思案の子どもたちに、次第に活発に仲間との交渉を増していく Mo を観察させることで、社会的交渉を確実に増加させ、Stone & Gotlib (1975) は Mo がある話題に関して自発的・即興的に話しているテープを聞くモデリング手続と、教示 (instruction) の組合せによって大学生の self-disclosure を増加させたことをそれぞれ報告している。また福島 (1973) は場面緘黙の幼児に教師と仲間を Mo として、幼稚園での発語を形成している。

(iii) 自閉症児らに対する機能的言語や精神病者らに対する社会的行動様式の訓練

自閉症児に対してモデリング療法が用いられる場合、その多くは分化強化法を伴っている。それは自閉症児の示す不適切な行動に対して一貫した無強化を通すことで (Risley & Wolf 1967), これらの行動のもつ機能的価値を失わせると共に、これとは対象的な適切行動に強化を随伴することで刺激に対する弁別価値を増大させ、モデリング手掛けに対する反応性を発達させようとするものである。この方法によって Lovaas et al. (1966) は、

自閉症児に対して初期の機能的言語を発達させることに成功している。最近では Rosenbaum & Breiling (1976) が、文章を読むことはできるが理解することのできない自閉症児に対して、verbal prompt, モデリング, 強化を組合せて訓練し、段階的にこれらの援助をとり下げていく方法を用いている。例えば、「ボールを指しなさい」と書かれたカードを提示する。10秒以内に正しい反応が起きた場合には強化が与えられ、誤った反応の場合には10秒間のタイムアウトの後に、もう1度提示し、「このカードにはどうするようにと書いてありますか」と言葉で促し (verbal prompt), さらに誤った場合には E (実験者) が正しい行動を示範し (modeling), さらに身体的手助け (physical guidance) を加えたりする。このような手続によって CI の機能的言語が増大し、強化をとり下げた後も遂行が維持されるようになった。ここではカードの言語内容を理解して行動がなされたのか、単にカード刺激の固形の手掛りが行動を誘発したのか疑問は残るが、般化項目に対する遂行水準が訓練項目と等しいかそれ以上であったことからみて、特定の反応パターンを習得した以上の学習が行われたと考えられる。また CI の傍に E が居ることは遂行の増加をもたらし、E がこの訓練をコントロールする重要な刺激であったことを示唆している。

Lovaas, Freitag, Nelson & Whalen (1967) は身近生活の自立、遊びのパターン、適切な性役割の獲得といった社会的行動パターンを訓練するためのプログラムも、言語学習と同様な基礎的方法をとることで可能になるとしている。

Edelstein & Eisler (1976) は社会的交渉を避ける分裂病者に対してモデリングを使った治療を試みている。4つの目標行動 (eye contact の増加, 身振りの増加, 感情の表明, 全体的主張性の増加) が設定された。CI は4つの訓練場面で適切に行動する Mo を VTR で観察した後4つの般化場面に誘導され、観察による習得を実践するように指示された。その結果、感情の表明行動が増大し、さらに教示とフィードバックを伴ったモデリングを行うことで目標とする行動が著しく増大した。

(iv) 職業指導, 専攻指導, 非行少年らに対する対人関係指導

Krumboltz (1964, 1965) らは、行動カウンセリングの一技法として社会的強化を伴った象徴モデリングの処置によって、高校生の職業選択のための情報探索活動を増大させ、その結果、decision making が促進されたことを報告している。Wachowiak (1972) はほぼ同様の、手続を用いて、大学生の専攻決定に関する実験を行った。

Moの専攻決定に関する熟考と陳述に対してカウンセラーが系統的に強化を与えているテープを聞いた後、Sは自分に関して述べる機会が与えられ、その際適切な陳述に対して強化を受けた。その結果Sは自らの専攻に対する確信を増加させ、専攻に対しての満足度も増加している。

少年犯罪者の指導にもモデリングが応用されている(Sarason & Ganzer 1973, Prentice 1972)。様々な問題を含む対人間関係状況において、始めはうまく対処できないMoが徐々にその状況を克服していくVTRを観察した後で、SはEと一緒にMoの役をロールプレイする。この手続によって、行動評定の面で改善がみられている(Thelen, Fry, Dollinger & Paul 1976)。

その他、強化とモデリングによって小学生の自己に対する低い自信を変容しようとした試み(Flowers 1972)、失敗に対する子どもの不適切な反応を変容するためのモデリング効果の検証(Shell 1975)、学級に適應できない子どもたちの社会的・情緒的行動を増加させるために、教示、モデリング、強化を組合せた治療例(Cooke & Apolloni 1976)などが報告されている。

3. モデリング療法で用いられる手続

(i) オバート・モデリングか、カバート・モデリングか実際のMoを用いるライブ・モデリング法(live modeling), VTR, 映画, 物語などの媒体を通してMoを呈示する象徴モデリング法(symbolic modeling), 及び教示を使って望ましい行動に従事しているMoをClにイメージさせる内潜モデリング法(covert modeling)の3つに大きく分類できる。さらに上の2つを合わせて、カバートに対して外に現われたという意味で、オバート・モデリング法(overt modeling)として区別することができる。

ライブ・モデリングの手続は、恐怖症の治療などでは実際のMoが実物の恐怖対象を扱うのをClが直接観察することであり、言語訓練などではThがMoとして正しい反応を示範したりすることである。これに対して象徴モデリングはMoの行動が視聴覚の媒介を通して間接的に呈示される。ここではすべてのClが同じものを観察することが可能になるし、実物では呈示することのできないような活動をたやすく呈示することができる。また子どもたちのこのような象徴的媒体になじんでいることが、彼らの注目過程に促進的に働くというメリットも指摘されている(Bandura 1971a)。

適用の自在さをさらに広げることができると期待されるのがカバート・モデリングである。カバート・モデ

リングはオバート・モデリングに比べてその臨床への適用報告はまだ少ないが、その有効性に関しては差がないことを示す研究結果(Cautela et al. 1974, Prentice 1972)も出されており、これからの行動的セルフコントロールの発展の中で、その重要性はさらに高められていくものと考えられる。

蛇恐怖の除去や主張行動の訓練に内潜モデリング法を用いた研究が、Kazdin (1973, 1974a, b, c, d, 1975, 1976)によって多数なされている。主張訓練の場合のイメージによるモデリングの手続は、例えば次のように行われる(Kazdin 1974a)。まず最初のセッションで主張行動に関する討議と内潜的手続に関する説明がなされ、その後でSは主張とは無関係な状況に他人(Mo)がいる場面をイメージするように言われ、その場面についての詳細な陳述が要求される(イメージチェック)。このようなイメージの練習の後、第2セッションから訓練場面(複数)が教示される。Sは提示された場面が鮮明にイメージできたなら、指を立てて合図するように指示される(この時Eはその場面の叙述は求めない)。Sは合図してから何秒間かその場面をイメージし続ける。同一場面が各セッションで繰り返される。

内潜モデリングはCautela(1971, Cautela et al. 1974)によって提唱された内潜的学習技法の中で独自の地位を占めており、イメージや言語といった認知過程を重視する動向の中で、今後多くの注目をひくに相異なる。

(ii) コーピング・モデルか、マスタリー・モデルか呈示されるMoの特徴から2つの手続が考えられる。1つはClと同じ立場から出発し、段階的に克服し、目標行動に接近していくコーピング・モデル(coping model)を呈示する方法であり、他方は始めから目標行動を難なく達成しているマスタリー・モデル(mastery model)を呈示する方法である。

コーピング・モデルはMoとObの類似性操作という点から生れてきた。問題とする行動次元でObと類似の属性をもちながら変化していく歴史的呈示を与えることによって、その効果は大きいとされている(Flanders 1968, Rosenkrans 1969, Kazdin 1974c)。また課題への接近に不安、ためらい、心配をもっているために、接近途中の段階において深呼吸などのリラクセーションを援用し、自信をつけていく過程を含むことは、ObがMoを通してリラクセーションの方法などを学ぶことになり、より治療効果を高めることが示唆されている(Meichenbaum 1971, Kazdin 1974b)。

しかし、マスタリー・モデルとコーピング・モデルの相対的優位性に関しては、Moのnegativeな情動の表出

がObに代理的に恐怖を増強するという視点から、むしろマスタリー・モデルの優位性を説くものもあり (Berger 1962, Bandura & Rosenthal 1966), 即断はできない。近刊の論文 (Kato & Fukushima 1978)によれば、コーピング・モデルはObの行動レベルでの改善に促進的に作用する一方、主観的恐怖の改善にはマスタリー・モデルの方が効果的だという結果も得られており、このことはMoのコーピング過程には注意深い配慮の必要ことが示唆される。この問題については適用される症例の面からも、今後検討されなければならないだろう。

(iii) モデル刺激の自己操作か、治療者による操作か

これまで多くの治療の中で用いられてきた方法は、主にモデル刺激の呈示が治療者によって操作される方法であった。一連のフィルムなり、実際の場面なりを全部あるいはある段階まで観察させる。その際、呈示する刺激段階の大きさは、基本的にはCIの問題行動の大きさ、性質に応じて決められる。

ところで最も妥当なCIに応じた呈示方法は、CI自身に呈示を任せることによって保証されるはずである。モデル呈示をCIが自分で操作する方法がこの点で注目される。Moが目標行動を遂行するテープ (イメージ) を観察している際、不安、不快などの反応が起こるようであったら、CI自身がそのテープ (イメージ) を止めて十分にリラックスした上で、もう1度始めから呈示しなおす。この方法Obは自身によってモデル刺激の強度がコントロールできる呈示の方法である。この時、ThがCIの合図によって、テープを操作する場合もある (Bandura et al. 1969, Lira et al. 1975)。

行動療法においても、他の心理療法と同様に graduation原理が重視されねばならない。例えば、successive approximation, スモール・ステップ原理、及びモデリングにおけるコーピング・モデルがそれである。CIに応じた graduation 法の最も妥当な方法は、CI自身にステップを任せることであろう。モデル刺激の呈示をCI自身に任せる技法は、この点からも、今後の臨床分野での活用性が大きいと期待される。

(iv) モデリングと他の手続の組合せ

多く用いられるのは、参加モデリング (participant modeling) とモデリングと強化を結びつけた方法 (modeling with reinforcement) である。

参加モデリング法はMoを観察した後、CI自身が同一場面で遂行を反復する方法である。もしこれをイメージの中で反復するならば、covert self-modelingとなる。社会的学習理論に従えば、恐怖行動は外的な恐怖刺激によって直接引き出されるか、あるいはself-arousalなメ

カニズムを介して起こると考えられるので、この2経路の刺激決定因の程度を変化させることで恐怖行動はコントロールされる。後者は恐怖を引き起こす思考の活性化によって動機づけられた防衛行動である。このように恐ろしいと思い込むことで恐怖対象を避けているような場合、そのような反応と不一致を起こさせる直接経験 ("恐怖対象は安全である") をモデリングの最終プロセスに組みこむことで、恐怖回避行動の除去をはかるのが参加モデリング法である。即ちMoを介した代理経験の効果をふまえて、直接経験を援助することによって効果を一層確信的なものにしようとするわけである。Ritter (1968) は蛇恐怖の子どもたちをモデリングによる手続と参加モデリングの手続に分けて、2回の35分セッションで治療したところ、モデリングのみの群では53%が、参加モデリング群では80%の子どもたちが恐怖の改善を示し、統制群の子どもたちでは1人も目標の接近行動を遂行できなかったと報告している。

参加モデリング法においてCIが1人で遂行できないような場合、ThあるいはMoがphysical aidingを与えることが考えられている。親しい人の存在は不安生起を抑制するし (Kissel 1965), 多少の蛇恐怖の人でも、Moがしっかりと蛇を捉えていれば触れることができる (Bandura, Blanchard & Pitter 1969)。Bandura et al. (1974) はさらに援助の大きさの違いによる参加モデリング法の効果を検討している。高援助群のSは、態度、感情、行動の測度上で低援助群よりすぐれていた。同様の結果は、高所恐怖 (acrophobia) のSを用いたRitter (1969) の実験でも示された。外的援助によって反応促進の効果がどのように引き出されてくるのかは今後の課題であるが、反応が援助によって促進された後では、Sが援助なしでの成功を経験するために、援助は段階的に取り除かれていくものであろう。

モデリングが強化と結びついてその効果を高めようとする場合、Moに強化が与えられるのをCIが観察する代理強化の利用と、Moを観察した後、CIが実際に遂行してみる際に強化が加えられる直接強化の利用の両方がとられている。ライブとフィルムのモデリングにおいて、Moの行動の後に好ましい結果が随伴されるのをSが観察すると、Sの遂行が高まるが、反対の結果は遂行を抑制することが報告されている (Bandura, Ross & Ross 1963, Bandura 1965)。Kazdin (1974a, 1975, 1976) は内潜モデリング法による主張訓練の中でも、Moの遂行後に望ましい結果をイメージすることは、内潜モデリングのみの処置を受けるよりもObの遂行を高めるという結果を報告している。

しかしここで代理強化が機能するのは、Moの遂行と強化に対して適切に注目がなされる場合に限られており、Key & Vene (1975) は分裂病者に対するモデリングの代理強化効果実験の中で、SがMoの行動を模倣する程度は代理強化によって影響を受けなかったとし、分裂病者が適切な細部にわたる注目過程をもっていないのではないかということを示唆している。適切な注目機能の成立していない自閉症児についても同様なことが言えそうである。そこではモデリング刺激そのものに対する反応性を育てる上からも、CIの遂行に対する直接強化の形がとられている (Lovaas et al. 1967)。

4. モデリング療法の有効性

モデリング療法の有効性を他の諸技法との相対的比較の上から見ると、Rachman, Marks & Hodgson (1971, 1973) は強迫神経症者に対して、モデリング、フラッディング、あるいは両者を組合せたものは、リラクセーションより有効であったことを報告している。さらにBandura, Blanchard & Ritter (1969) は蛇恐怖のSに対して、参加モデリング、象徴モデリング、脱感作法の順に効果のあったことを報告、Schaw & Thoresen (1974) は歯科恐怖のSに対するself-modeling+リラクセーションと脱感作を比較して、両者に有意差はなかったが歯科医を訪れるという行動面で、モデリング群は脱感作群より大きな改善を示したことを報告している。ライブ・モデリング、脱感作、フラッディングの比較では、後者に比べて前者2つの効果が大きいとされている (茨木 1975)。また伝統的カウンセリングとの比較では、幾つかの測度で強化モデリング法がすぐれていたとする報告 (Wachowiak 1972) もある。

これら一連の結果から、すべてのCIにとってモデリング療法が最良の方法であると言い切れるものではないが、モデリング療法が他の心理療法に比べて決して劣るものではないことが示されよう。

ここで興味深いことは、これらモデリング療法の優位性は、恐怖行動においてはその行動的接近といった現実的・具体的測度上に著しく表われていることである。モデリングの有効性は、概して、感性(不安・葛藤の生起)、態度、行動変化の3つの次元の指標が、自己報告と他者評定の2つの方法で測定され他の状況や対象への一般化(空間的变化として)と、時間的变化としての改善の維持に関して評価されている。変化の誘発・一般化・維持を捉える測度の適切さに対する検討と合せて、モデリングによる働きかけの影響過程を一層的確に反映できる測度といったものが出てこないだろうか。

また、Blanchard ((unpublished) Bandura 1971c) はモデリングを通して引き出された態度と行動の変化の間には高い相関のあることを指摘しているが、行動的接近の測度に反映されたのはモデリング自体の効果なのか、参加やイメージによるリハーサルの効果であるのか疑問が残されている。

組合せられた手続の中での各々の貢献度を知るために、モデリングは教示やコーチング (coaching)、オバートあるいはカバートなりハーサルや参加 (participation)、フィードバックなどとその効果を比較検討されている。精神病者の主張訓練 (Hersen, Eisler, et al. 1973) や自主的行動の訓練 (Goldstein et al. 1973) などで教示とモデリングの効果が、また self-disclosure におけるモデリングとリハーサルの効果が認められている (Bliss 1974)。一方、Twentyman & Mcfall (1973) は主張訓練においてモデリングは、内潜リハーサルとコーチングの貢献度に比べて、その効果にほとんど付加していないとしている。これに対して Kazdin (1976) は、ここで用いられた内潜リハーサルは内潜モデリングの手続に類似していることを指摘している。Bandura (1969) も教示とモデリングは反応媒体がverbalであるか、symbolicであるかの違いであるとして、教示を1つの verbal modeling とみなしていることは、モデリングの範疇を考える上で意味深い。

モデリングの過程や影響に関する実験は、心理療法としてのモデリング効果を高めるための工夫でもあった。モデリングにバリエーションをつけようとする場合、その多くはモデルの特徴に関係している。先に述べたコピーング・モデルも恐怖に関係した (relevant) 次元でのMoとObの類似性を考慮した1つである。

両者の類似性は問題に関係しない (irrelevant) 次元でも考えられる。同性 vs 異性の性の類似性 (O'sullivan 1976, Kazdin 1974)、同年 (子ども) vs 年長 (大人) の年齢の類似性 (Kornhaber 1975, Kazdin 1974, Bandura & Barab 1973)、内潜モデリングにおける自分 vs 他人のイメージ (Kazdin 1974) などの実験がなされている。MoがObと共通の特質をもつことはMoの反応が個人にとって受け入れやすいものになるという同一視の考え方 (Stotland & Patchen 1961) に従うと、両者の類似性はモデリングの重要な変数となるが、同性 Mo が異性 Mo より効果的だとする研究は多いが、年齢の類似性の点では一貫した結論は出されていない。子どもをSとした Kornhaber (1975) の実験では、子どものMoが大人のMoより有効であるとされた一方で、Bandura & Barab (1973) の実験では、大人のS (16~54才) が子どものMoを観

察した場合の方が大人の Mo を観察した場合に比べて、恐怖接近行動の遂行が有意に促進されたとしている。脱抑制効果を社会的対比に基づく動機づけによって解釈すれば、Mo が類似していることだけが重要な要因とは言えないだろう。モデルの影響には情報機能と動機づけ効果も含まれると考えられる (Bandura & Barab 1973)

呈示されるモデルの数による影響も検討されている。ライブ・モデリングにおいて Bandura & Menlove (1969) の実験が行われ、複数の Mo の優位性が示されたが、この実験では Mo の数が複数であると同時に恐怖刺激も複数であったため、両者が混同されているおそれがある。Baron (1971) は攻撃的な Mo だけを観察した時と、攻撃的な Mo と非攻撃的な Mo の 2 人を観察する場合を比較して、攻撃性が 2 人の Mo を見ることで弱められることを報告している。複数の Mo を観察することは、それだけ多くの情報を得る機会になると思われる。また、Kazdin (1975, 1976) は内潜モデリングにおいても複数 Mo の効果が優位であることを示唆している。

モデルが観察者にとって親和的、報酬的、日常的人物であることは、モデリングの影響を受けやすくしている。特に、入院している精神病患者や情緒障害児などにとって、この要因の影響は大きいと思われる (Ainley & Chartier 1974, Portnoy 1973)。

Meichenbaum (1971) はコーピング・モデルを用いたモデリングにおいて、Mo に自分の行動や正の感情を言葉で説明するようにさせると、このような手続によって、不安や恐怖が一層効果的に軽減されるとしている。行動モデリングと言語モデリングが組合された形態といえる。Ob は Mo の行動に示された事例からの情報と、言葉による概念化された情報を統合することによって、安定的で一般性の高い認知的表象を獲得したということができよう。

5. 結 び

モデリング療法は、モデリングの独自の理論と技法を臨床分野に活用するものであるが、今までなされてきた臨床研究は少なからずモデリング技法と他の行動療法の諸技法とを組合せる形で、その有効性が認められてきた。例えば、モデリングと強化を組合せた方法や行動リハサナル法と組合された参加モデリング法などである。また、モデリング技法は、これまでの行動療法研究の中から生まれてきた諸技法から多くの示唆を受けている。コーピング・モデルの呈示はシェイピングや脱感作の過程をモデリングに応用したものである。また、1 つのセルフ・コントロールでもある内潜的脱感作法は、自らを Mo と

レイメージの中で反復する covert self-modeling 法と考えることができよう。このことは、モデリング療法が従来の行動療法と共通の基盤に立ち、なじみやすいことを意味している。社会的学習理論は、人・行動・環境の間の相互影響的な interaction として人間行動を捉えていく。この視点は、仮定された内的力によって行動を説明する立場とははっきり対立するものであり、一方、行動療法の立場とは矛盾しないだろう。

しかし、従来の行動理論と社会的学習理論の間には基本的な考え方に違いのあることも見落としてはならない。確かにモデリング理論による治療はオペラント技法と共に用いられることが多いが、しかしその際の強化の意味はオペラント原理に立つそれとは異なる。モデリングと強化を組合せることは、モデリングの下位過程を促進するためであり、参加モデリング法は、観察的に獲得された認知的表象とその表象によって導かれた実際の遂行との照合をはかるものである。そこにはモデリング理論の独自性が保たれている。モデリング理論では、観察によって認知的表象が獲得され、その表象が遂行をガイドすると考えるが、こうした認知過程はオペラント理論ではとりあげられていない。行動療法を含む行動変容の方法の発達に、個人的→社会的学習、他律的→自律的学習、顕在的→内潜的(認知的)学習の方向へ向かう(春木1975)とするならば、モデリング療法こそこの方向に向かって変化しうる療法といえる。

心理療法の歴史の中で、精神分析を代表とする伝統的な心理療法と人間の認知過程を考慮に入れない行動療法とは、基本的対立関係にあったと言えよう。そのような中であって、モデリング療法は両者の統合の一過程にあると考えられる。その意味では、モデリング療法は行動療法を越えた広がりと言義を持っているといえよう。

文 献

- Bandura, A., Ross, D., & Ross, S. A. 1963 Imitation of film-mediated aggressive model. *J. Abn. Soc. Psychol.*, 66, 3-11
- Bandura, A. 1965 Influence of models' reinforcement contingencies on the acquisition of imitative responses. *J. Per. Soc. Psychol.*, 1, 589-595
- Bandura, A., & Rosenthal, T. 1966 Vicarious classical conditioning as a function of arousal level. *J. Per. Soc. Psychol.*, 3, 54-62
- Bandura, A., Grusec, J. E., & Menlove, F. L. 1967 Vicarious extinction of avoidance behavior. *J. Per. Soc. Psychol.*, 5, 16-23
- Bandura, A., & Menlove, F. L. 1968 Factors determining vicarious extinction of avoidance behavior through symbolic modeling. *J. Per. Soc. Psychol.*

8. 99-108
- Bandura, A. 1969 Principle of behavior modification. New York: Holt, Rinehart and Winston
- Bandura, A., Blanchard, E. B., & Ritter, B. 1969 The relative efficacy of desensitization and attitudinal changes. *J. Per. Soc. Psychol.* 13, 173-199
- Bandura, A., 1971a Social learning theory. General Learning Corporation. 原野広太郎・福島脩美 (訳) 1974 人間行動の形成と自己制御 金子書房
- Bandura, A. 1971b Psychological modeling: conflicting theories. Aldine Atherton. 原野広太郎・福島脩美 (訳) 1975 モデリングの心理学 金子書房
- Bandura, A. 1971c Psychotherapy based upon modeling principles. In A. E. Bergin and S. L. Garfield (Eds.), *Handbook of psychotherapy and behavior change*. New York: Wiley,
- Bandura, A., & Barab, P. G. 1973 Processes governing disinhibitory effects through symbolic modeling. *J. Abn. Psychol.* 82, 1, 1-9
- Bandura, A., Jeffery, R. W., & Wright, C. L. 1974 Efficacy of participant modeling as a function of response induction aids. *J. Abn. Psychol.* 83, 1, 56-64
- Bandura, A. 1977 Social learning theory. Prentice-Hall
- Baron, R. A. 1971 Reducing the influence of an aggressive model: The restraining effects of discrepant modeling cues. *J. Per. Soc. Psychol.* 20, 240-245
- Berger, S. M. 1962 Conditioning through vicarious instigation. *Psychological Review*, 69, 450-466
- Bliss, B. 1974 The effect of modeling and behavior rehearsal upon the modification of self-disclosing behavior in children. *Dissertation Abstracts International*, 34, (10-B) 5182
- Cautela, J. R. 1971 Covert modeling. Paper presented at the fifth Annual Meeting of the Association for advancement of Behavior Therapy. Washington, D. C., September 1971
- Cautela, J. R., Flannery, Jr. R. B. & Hanley, S. 1974 Covert modeling: An experimental test. *Behavior Therapy* 5, 494-502
- Chartier, G. M., Ainley, C., & Voss, J. 1976 Effects of vicarious reward and punishment on social imitation in chronic psychotics. *Behav. Res. & Therapy* 14, 303-304
- Cooke, T. P. & Apolloni, T. 1976 Developing positive social-emotional behaviors: A study of training and generalization effects. *J. Applied Behav. Analysis*, 9, 65-78
- Denholtz, M. S. & Mann, E. T. 1975 An automated audiovisual treatment of phobia administered by non-professionals. *J. Behav. Therapy. Experim. Psychia.*, 6, 111-115
- Edelstein, B. A. & Eisler, R. M. 1976 Effects of modeling and modeling with instructions and feedback on the behavioral components of social skills. *Behavior Therapy*, 7, 382-389
- Flander, J. P. 1968 A review of research on imitative behavior. *Psychological Bulletin*, 69, 316-317
- Flower, J. V. 1973 Modification of low self confidence in elementary school children by reinforcement and modeling. *Dissertation Abstracts International*, 33, 3935-3936
- 福島脩美 1973 担任教師による問題行動の改善 東京学芸大学紀要 24, 38-49
- 福島脩美・松村茂治 1977 内潜的学習の理論と行動変容 [人間の行動変容 春木豊編著 川島書店]
- 福島脩美・原野広太郎 1977 講座 モデリングと教育 (二) 児童心理 31, 6, 189-208
- 春木豊 1975 人間の行動変容における3つの次元 心理学評論 18, 2, 111-124
- Goldstein, A. P., et al. 1973 The use of modeling to increase independent behavior. *Behav. Res. & Therapy*, 11, 31-42
- 原野広太郎, 他 1975 モデリング理論とその動向, 教育心理学年報 第15集
- Hersen, M., Eisler, R. M. & Miller, P. M. 1973 Effects of practice, instruction and modeling on components of assertive behavior, *Behav. Res. & Therapy*, 11, 443-451
- 茨木俊夫 1975 行動療法 of 臨床心理学的研究—蛇恐怖に対する脱感作, フラッディング, モデリングの効果の比較—(その1) 日心第39回大会発表論文集461
- 今井靖親 1976 動物恐怖除去におけるモデリングの効果 教心第18回総会大会発表 632-633
- Kato, M., Fukushima, O. 1978 The effects of covert modeling in reducing avoidance behavior. *Jap. Psychol. Research* 19, 4, (in press)
- Kazdin, A. E. 1974a Effects of covert modeling and model reinforcement in assertive behavior. *J. Abn. Psychol.* 83, 3, 240-252
- Kazdin, A. E. 1974b Covert modeling, model similarity, and reduction of avoidance behavior. *Behavior Therapy*, 5, 325-340
- Kazdin, A. E. 1974c The effect of model identity and fear-relevant similarity on covert modeling. *Behavior Therapy*, 5, 624-635
- Kazdin, A. E. 1974d Comparative effects of some variations of covert modeling. *J. Behav. Therap. Experi. Psychia.* 5, 225-231
- Kazdin, A. E. 1975 Covert modeling, imagery assessment and assertive behavior. *J. Consult. Clinic. Psychol.*, 43, 5, 716-724
- Kazdin, A. E. 1976 Effects of covert modeling, multiple model, and model reinforcement on assertive behavior. *Behavior Therapy* 7, 211-222
- Keys, M. Y. & Vane, J. R. 1975 The effects of vicarious reinforcement on modeling by schizophrenic hospital patients. *J. Clin. Psychol.* 31, 3, 413-415
- Kissel, S. 1965 Stress-reducing properties of social stimuli. *J. Per. Soc. Psychol.*, 2, 378-384
- Kornhaber, R. C., & Schroeder, H. E., 1975 Importance of model similarity on extinction of avoidance behavior in children. *J. Cons. Clinic. Psychol.*, 43, 5, 601-607

- Krumboltz, J. D. & Thoresen, C. E. 1964 The effects of behavioral counseling in group and individual settings on information-seeking behavior. *J. Cons. Psychol.* 11, 324-333
- Krumboltz, J. D. & Schroeder, W. W. 1965 Promoting career planning through reinforcement. *Personnel and Guidance Journal*, 44, 19-26
- Lewis, S. 1974 A comparison of behavior therapy techniques in the reduction of fearful avoidance behavior. *Behavior Therapy*, 5, 648-655
- Lira, F. T., et al. 1975 Relative effects of modeling and role playing in the treatment of avoidance behaviors. *J. Consul. Clinic. Psychol.* 43, 5, 608-618
- Lovaas, O. I., et al. 1966 Acquisition of imitative speech by schizophrenic children. *Science*, 151, 705-707
- Lovaas, O. I., et al. 1967 The establishment of imitation and its use for the development of complex behavior in schizophrenic children. *Behav. Res. Therapy*, 5, 171-181
- Mcfall, R. M., & Twentyman, C. T. 1973 Four experiments on the relative contributions of rehearsal, modeling, and coaching to assertion training. *J. Abn. Psychol.* 81, 3, 199-218
- Meichenbaum, D. H. 1971 Examination of model characteristics in reducing avoidance behavior. *J. Per. Soc. Psychol.* 17, 3, 298-307
- Melamed, B. G., et al., 1975 Reduction of fear-related dental management problems with use of filmed modeling. *J. Americ. Dent. Associat.* 90, 822-826
- Melamed, B. G., & Siegel, L. J. 1975 Reduction of anxiety in children facing hospitalization and surgery by use of filmed modeling. *J. Consult. Clinic. Psychol.* 43, 4, 511-521
- O'Connor, R. D. 1969 Modification of social withdrawal through symbolic modeling. *J. Applied. Behav. Analysis*, 2, 15-22
- O'sullivan, M. J., & Gilner, F. H. 1976 Sex of model and, motivation to change behavior as factors in modeling. *Psychological Reports*, 38, 595-601
- Portnoy, S. M. 1973 Power of child care worker and therapists figures and their effectiveness as models for emotionally disturbed children in residential treatment. *J. Consul. Clinic. Psychol.* 40, 1, 15-19
- Prentice, N. M. 1972 the influence of live and symbolic modeling on promoting moral judgment of adolescent delinquents. *J. Abn. Psychol.* 80, 2, 157-161
- Rachman, S., Hodgson, R., & Marks, I. M. 1971 The treatment of obsessive-compulsive neurosis. *Behav. Res. & Therapy*, 9, 237-247
- Rachman, S., Hodgson, R., & Marks, I. M. 1973 The treatment of obsessive-compulsive neurotics by modeling and flooding in vivo. *Behav. Res. & Therapy*, 11, 463-471
- Rathus, S. A. 1973 Instigation of assertive behavior through videotape-mediated assertive models and directed practice. *Behav. Res. & Therapy*, 11, 57-65
- Risley, T. & Wolf, M. 1967 Establishing functional speech in echolalic children. *Behav. Res. & Therapy*, 5, 73-88
- Ritter, B. 1968 A group treatment of children's snake phobias, using vicarious and contact desensitization procedures. *Behav. Res. & Therapy*, 6, 1-6
- Ritter, B. 1969 The use of contact desensitization, demonstration plus-participation, and demonstration alone in the treatment of acrophobia. *Behav. Res. & Therapy*, 7, 157-164
- Rosekrans, M. A. 1967 Imitation in children as a function of perceived similarity to social model and vicarious reinforcement. *J. Per. Soc. Psychol.* 7, 307-315
- Rosenbaum, M. S., & Breiling, J. 1976 The development and functional control of reading-comprehension behavior. *J. Applied Behav. Analysis*, 9, 323-333
- Sarason, I. G., Ganzer, V. J. 1973 Modeling and group discussion in the rehabilitation of juvenile delinquents. *J. Counsel. Psychol.* 20, 442-449
- Sawyer, A. R. 1974 the effectiveness of token reinforcement, modeling and traditional teaching techniques on achievement and self-concept of underachievers. *Dissertation Abstracts International*, 34, (7-4) 3888
- Shaw, D. W & Thoresen, C. E. 1974 Effects of modeling and desensitization in reducing dentist phobia. *J. Counsel, Psychol.* 21, 5, 415-420
- Stone, G. L., & Gotlib, I. 1975 Effects of instruction and modeling on self-disclosure. *J. Counsel. Psychol.* 22, 4, 288-293
- Stotland, E., & Patchen, M. 1961 Identification and changes in prejudice and in authoritarianism. *J. Abn. Soc. Psychol.* 62, 265-274
- Thelen, M. H., et al. 1976 Use of videotaped models to improve the interpersonal adjustment of delinquents. *J. Consul. Clin. Psychol.* 44, 3, 492
- Wachowiak, D. G. 1972 Model Reinforcement counseling with college models. *J. Counsel. Psychol.* 19, 5, 387-392

(1977年9月5日 受稿)